

## 解熱鎮痛薬

生薬配合

## ピタリ「ワキ」細粒

## ピタリ「ワキ」細粒は

有効成分の効果を高める働きをする生薬カノコソウエキスを配合した  
お薬で頭痛、歯痛、肩こり痛などに有効に作用します。

## ⚠ 使用上の注意

## ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

## 1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

## 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

## 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある。）

## 4. 服用前後は飲酒しないこと

## 5. 長期連用しないこと



## 相談すること

## 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている  
又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。
- (5) 高齢者。
- (6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人。

肝臓病、心臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍

## 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位  | 症 状         |
|-------|-------------|
| 皮 膚   | 発疹・発赤、かゆみ   |
| 消 化 器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい         |
| そ の 他 | 過度の体温低下     |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名称                                                        | 症 状                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ショック<br>(アナフィラキシー)                                           | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(スティーブス・ジョンソン症候群)、<br>中毒性表皮壊死融解症、<br>急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 肝機能障害                                                        | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                                          |
| ぜんそく                                                         | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。                                                          |
| 間質性肺炎                                                        | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。                         |
| 腎障害                                                          | 発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。                                                  |

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 〔効能・効果〕

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- (2) 悪寒・発熱時の解熱

## 〔用法・用量〕

| 年 齢  | 15歳以上 | 11歳以上15歳未満 | 7歳以上11歳未満 |
|------|-------|------------|-----------|
| 1 回量 | 1 包   | 2/3 包      | 1/2 包     |

いずれも1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。服用間隔は6時間以上おくこと。

## 〔用法・用量に関連する注意〕

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (3) 7歳未満の小児には服用させないこと。

## 〔成分・分量〕 2包(大人1日量)中に次の成分を含む緑色の細粒

| 成 分             | 分 量     | 成 分      | 分 量       |
|-----------------|---------|----------|-----------|
| アセトアミノフェン       | 600.0mg | 無水カフェイン  | 200.0mg   |
| エテンザミド          | 750.0mg | カノコソウエキス | 160.0mg   |
| アリルイソプロピルアセチル尿素 | 120.0mg | (原生薬換算量) | (800.0mg) |

添加物としてヒドロキシプロピルセルロース、バレイショデンプン、クエン酸カルシウム、緑茶末、着色料黄色4号(タートラジン)、青色1号を含む。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 使用期限を過ぎたものは服用しないこと。

### お問い合わせ先

連絡先 ワキ製薬株式会社 お客様相談室  
住 所 奈良県北葛城郡広陵町南郷898  
電 話 0120-200-114  
受付時間 午前9時から午後5時まで(土、日、祝日を除く)

### 製造販売元

❶ **WAKI** **ワキ製薬株式会社**  
〒635-0814 奈良県北葛城郡広陵町南郷898  
URL: <http://www.a-kusuri.co.jp/>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話: 0120-149-931 (フリーダイヤル)

## 解熱鎮痛薬 ピタリ「フキ」細粒

## ⚠ 使用上の注意

## ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
  - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと (眠気等があらわれることがある。)
4. 服用前後は飲酒しないこと
5. 長期連用しないこと

## 👤 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 授乳中の人。
  - (4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。
  - (5) 高齢者。
  - (6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (7) 次の診断を受けた人。  
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位  | 症 状         |
|-------|-------------|
| 皮 膚   | 発疹・発赤、かゆみ   |
| 消 化 器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい         |
| そ の 他 | 過度の体温低下     |

裏面もお読みください

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名称                                                         | 症 状                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ショック<br>(アナフィラキシー)                                            | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(スティーブンス・ジョンソン症候群)、<br>中毒性表皮壊死融解症、<br>急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 肝機能障害                                                         | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                                          |
| 腎障害                                                           | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。                                            |
| 間質性肺炎                                                         | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。                         |
| ぜんそく                                                          | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。                                                          |

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

### 【用法・用量に関連する注意】

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (3) 7歳未満の小児には服用させないこと。

### 【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 使用期限を過ぎたものは服用しないこと。